

「建交労とうきょう」はいつでもみなさまからの記事や写真を待っています。  
(メール) tohonbukenkouro@smile.odn.ne.jp  
ホームページ <http://www.kenkouro.com/>

# 建交労 STG び・とうきょう

# 建交労東京都本部機関紙

発行所  
全日本建設交通一般労働組合東京都本部  
〒135-0048  
江東区門前仲町1-20-3  
東京建設自労会館 7階  
電話 03(3820)8644(代)  
fax 03(3820)8646  
編集発行人 松田 隆浩  
1部15円組合費に含まれる(〒60円)



#### トラック部会の仲間(国交省前)



## 事業団高齢者部会の仲間（厚労省）



## 建交労建設6部会によるゼネコン要請

（木）建交労は全国統一行動を開催しました。今年はコロナ禍により全体としての行動は控えましたが、トラック部会や建設6部会、事業団高齢者などがそれぞれの業種の立場から省庁を中心に要請を行いました。全国トラック部会は交運共闘と共に国交省前で代表参加での集会を行い、その後全国の仲間から届いた、請願署名を各省庁に提出しました。

自動車運転者に対する改善基準告示を中心とした項目や、適正運賃収受にむけた標準運賃の設定など、運転手やトラック運輸産業の実態と改善は緊急の課題です。

内署名は全国から国交省宛524枚、厚生労働省5374枚、経産省宛5300枚を集約しました。全国事業団・高齢者部会は、雇用・就労問題の要請書にもとづき、厚生労働省との交渉を行いました。高安法や生活困窮者自立支援について、厚労省が各自治体まかせでなく、法令に従つて周知するよう強く要請しました。建交労建設6部会（ダンプ部会、生コン部会、重機部会、建設現場部会、労職部会、建設・関連部会）は第3回目の大手ゼネコン要請行動を行い、7社（飛島建設・竹中工務店・奥村組、大豊建設・戸田建設・

西松建設・安藤ハザマの本社へ訪問しました。ダンプ部会は安全安心の12条団体（建交労のダンプなど）の使用促進など、生コン部会は生コンの品質確保や価格変更への対応措置など、建設現場部会は8年連続で引き上げられた「公共工事設計労務単価」が現場に反映されていない問題などについて、建設・関連部会は建設現場の4週8休などについて、重機部会はクレーン作業における安全確保について、労職部会はトンネルじん肺根絶訴訟の早期解決などを要請しました。引き続き各委員会は労働条件改善のため奮闘します

記憶は  
きが  
教 大 学  
11月11日(水) 真のふるさと再生のために ~福島原発  
事故被害「ふるさと」の会と 求められる取り組み~

11月11日（水）に連合会館で開催された「真のふるさと再生のため」福島原発事故被害「ふるさと」の今と、求められる取り組み」集会に参加しました。福島原発事故から来年2021年で10年間が経過します組員の皆さんいかがお考えでしょうか？ 私自身は数年前からメディアによる報道もほとんどされなくなり東日本大震災も含めしたことにしてしまったります。今回の講演では立

『ふるさと剥奪とはなにか』でした。避難指示が継続している「浪江町対馬地区」と避難指示は解除されている「川俣町山小屋」の事例をあげて、「人と自然」「人と人」「歴史・文化・先祖代々・子孫などの持続性・永続性」の視点で「ふるさと剥奪」について論じていました。また、行動提起では全国の原発訴訟は最高裁にうつり、法定外闘争において最高裁の所在地である東京の民主団体の支援の枠組みが一層重要な局面に入り、広範な世論をつくり、原発ゼロ・再生可能エネルギーへの転換が求められています。

～新型コロナについての  
相談・情報は都本部まで  
お寄せ下さい～  
建交労東京都本部  
☎03-3820-8644  
✉tohonbukenkouro  
@smile.odn.ne.jp



来年福島原発事故から10年を迎えます

## 10月18日(日)建交労東京三多摩支部 第46回定期大会・三多摩地協第19回定期総会

(日)、建交労東京都本部三多摩支部は第46回目となる定期大会を、三多摩地区協議会は第19回の定期総会を、それぞれ北多摩西教育会館にて開催しました。コロナ禍という前例の無い情勢の中、来賓に建交労東京都本部の石塚副委員長をお招きし、各分会からは委任状を集めて人数を

合せでゴミ収集作業を行いました。清掃事業が23区に移管されて以降、車両の減車とごみ収集作業員の民間委託が続いていること、減車が原因で積載量が増え車両火災も増加しています。各自治体や業界に「清掃行政は自治体固有の事務事業」であることを再認識させ、「公契約」による適正運行部の選出、並びに憲法を守る運動を基本に労働者の生活・権利・雇用を守り生活向上のためにたたかう方針を確立しました。今年はコロナ禍の中、エッセンシャルワーカーとして感染リスクと隣り

合せでゴミ収集作業を行いました。清掃業界を残すために、奮闘しなければなりません。非正規の作業員や運転手が増える中「みんなで決めて、みんなで実行」を実践し組織拡大に取り組みます。

9月27日(日)  
建交労関東支部  
第40回定期大会

建交労関東支部は9月27日(日)第40回定期大会を東京トラック健保会館にて開催し、新執行部の選出、並びに憲法を守る運動を基本に労働者の生活・権利・雇用を守り生活向上のためにたたかう方針を確立しました。今年はコロナ禍の中、エッセンシャルワーカーを進める必要があります。



団結して頑張ろう!

## 11月11日(水) 建交労東京建設・関連部会 第22回定期大会開催

の労働運動発展に貢献していました。三多摩地区協議会は、バス関連支部(京王新労組)と三多摩支部はバス関連支部(京王新労組)の組合差別を許さない不屈のたかいをタイムリーに共有していました。3年前の組織再建以降、執行委員会で各分会から業種の生業そのものについて説明を受けるなど、お互いを知る事や全員参加の活動に焦点を置いた運営を心掛けてきました。今年度は学童保育や競走分会について個別の対策会議を複数回行なっており、三多摩地域全体

の労働運動発展に貢献していました。三多摩地区協議会は、バス関連支部(京王新労組)と三多摩支部はバス関連支部(京王新労組)の組合差別を許さない不屈のたかいをタイムリーに共有していました。定期大会・総会後は交流会を始まっています。

また、三多摩地協の幹事会ではバス関連支部(京王新労組)はバス関連支部(京王新労組)の組合差別を許さない不屈のたかいをタイムリーに共有していました。定期大会では、引き続き争議の早期解決のための支援・結集を確認しています。また、三多摩地域独自の上部組織である三多摩労連や三多摩春闐共闘にバス関連支部(京王新労組)から地協を代表して役員を選出しており、三多摩地域全体

の労働運動発展に貢献していました。三多摩地区協議会は、バス関連支部(京王新労組)と三多摩支部はバス関連支部(京王新労組)の組合差別を許さない不屈のたかいをタイムリーに共有していました。定期大会・総会後は交流会を始まっています。

また、三多摩地協の幹事会ではバス関連支部(京王新労組)はバス関連支部(京王新労組)の組合差別を許さない不屈のたかいをタイムリーに共有していました。定期大会では、引き

きました。定期大会では、引き

きました。定期大会では、引き